

## 織田淳子さんに東京ブランチ賞

2007年度の東京ブランチ賞は織田淳子さん(のしろウインズ)に贈られます。

織田さんがスコティッシュ・カントリー・ダンシングに出会ったのは1980年、SCDの魅力にとりつかれ、以後日本SCDの中心から離れた地にあつて、このダンシングの楽しさをたくさんの人に知ってもらいたいと、なみなみならぬ熱意でグループを発足させ、指導してきました。ビギナーズ・クラスをたびたび開催し、新人会員には東京ブランチ会員になるように勧めています。ブランチ合宿にのしろウインズから必ず参加者があるのは、織田さんの叱咤激励がその元ともいえます。早くからボール、ダンス会、ブランチ・ティーチャーによる講習会を開催していますが、特筆すべきは1994年、ブランチ10周年記念のビル・アイアランド、ジェニファー・ウィルソンによる能代講習会です。前年から準備を主導していた織田さん、心労がたたりなんと8月に脳内出血で倒れてしまったのです。9月の講習会は滞りなく完了しましたが、のしろウインズ会員の結束と、織田さんのそれまでの周到な準備がこの特別行事を成功させたといえます。

現在は元気になられ、後継者育成にも熱心で、会員数名に指導者資格を取得えさせようと、毎週のクラスをその態勢にあらため、奮闘しています。

地理的な条件から直接ブランチ運営にたずさわれませんが、SCDを東北の地で定着させた功績は多大なものがあります。

## 本部会費、年15ポンドに

さる11月の本部AGMにおいて、本部会費の値上げが承認され、新年度から年15ポンド(いままでは10ポンド)となりました。本部チェアマン説明によると、本部費用を会員1人あたりですると年17ポンドを要しており、将来を見通した場合、この値上げが必要とのこと。当ブランチは「マガジン配布を会員直接でなく、従来の一括セクレタリ送付に戻すなどして値上げ額を最少にしてほしい」と意見を述べましたが、マガジン送付料の本部費用に占める割合は小

さいとのことで、年 15 ポンドとなりました。

したがいまして、ポンドレートの変動も考え、2008 年度の会費額は

本部会費	¥3, 700
ブランチ会費	¥2, 500
合 計	¥6, 200

みなさんのご理解をお願い申し上げます。2008 年度はお知らせ用はがき代金のお支払いは不要です。

## ビル・クレメントさんに大英帝国勲章

長年にわたるスコティッシュ・カントリー・ダンシングとパイピング普及への貢献をたたえ、このほど英国政府からビル・クレメントさんに大英帝国勲章 MBE (Member of the British Empire)が授与されました。ビル・クレメントさんは「まったく思いがけなかったが、私個人のみならず、SCDがあらためて国から評価されているあかしであり、たいへんうれしい」と述べておられます。

ビル・クレメントさん、おめでとうございます。

## 運営委員会報告

2007年11月3日第6回運営委員会

### (1)Weekend 2008

クラスレベル、タイムスケジュールの決定

ステップダンスクラスの場所、レベルについて

その他 ソーシャルダンスのプログラムについてはバーバラ・マッコーエンのリストの中から選び、12月の委員会で決める。(2時間12ダンス)

Weekend 100名、スキルコース 40名まで受け付ける。

委員の役割分担について

### (2)Weekend 2009

開催時期、会場、講師について検討

### (3)WDD

前回はデモだけだったのでWDDとしての意義は薄かった。

本部はダンス・スコティッシュ・ウィークに力を入れている。

4月29日のWDD参加は見送る。

### (4)次期役員について

候補者に各運営委員が意思を確認する。

### (5)ブランチクラス

12月アドヴァンスクラスの会場決定

大久保地域センターで総会を開くことを検討する。

(6) ブランチ賞推薦状況

11月末までに推薦があれば検討する。

(7) その他

ソーシャルダンシング・クラス 21名参加 約3千円の収益

会場—大久保地域センターは4—6セットが丁度よい広さ。音響設備あり。

パーティ形式を希望する会員が多いようならクラスの形を変えていく必要がある。

ブランチレター 11月末完成予定

2007年12月1日第7回運営委員会

(1) Weekend 2008

①ティーチャーズスキルコース参加費について

参加者が50名の場合、そのまま受け入れる。

②11月30日現在の申込状況

③Weekendクラス会場について

大会議室—机は移動可能。椅子は重ねられない—6セット作れる。

暖房あり。

23日夜のSocial Danceの会場について

④Social Dancing のプログラム決定

大井さんのダンスを中田クラスで取り上げる。

⑤アンケート 前回通りの形式

⑥日帰り参加について

(2) Weekend 2009

次回検討する。

(3) WDD

(4) 次期役員について

(5) 1月、2月アドヴァンスクラスの会場、講師、ピアニストの確認

(6) ブランチ賞

織田淳子さん(のしろウィンズ)に決定

東北での織田さんの活動は著しいものがある。地道に地方で頑張っている人への励みになる。レターNo. 78に載せる。

(7) 本部関係

Dance Scottish Weekに関するアンケートは本部へ回答済み

出版物、CDの紹介が鳥山チェアマンよりあり

能代 山崎淳子さん Unit 1合格

本部通信員 日本全体を良く見て全国のニュースを集められる人がふさわ

しいので鳥山チェアマンを推薦する。

(8) 日本語版マガジンNo. 5作成状況

1月中旬に会員へ送付予定

2008年1月5日 第8回運営委員会

(1) Weekend 2008

①参加申込最終人数

ティーチャーズスキル 41名 ミュージック 10名

ダンシング 100名

②通訳・MC依頼

参加者に案内を送付(時刻表、交通の便、地図、時間割、CD販売等)

(2) Weekend 2009

会場の検討

(3) Social Dancing Class 会場について

(4) 次期役員依頼状況

(5) ブランチクラス 2月、3月 会場について

(6) ブランチ賞推薦状況

(7) 本部関係 新しいCD・西オーストラリア関係のブック等レターNo.78で紹介

(8) 日本語版マガジンNo. 5の完成予定

(9) その他

1月27日 3ブランチ合同ミーティング

ビギナーズクラスの会場について

6月7日(土)ブランチ総会 大久保地域センター会議室を申し込む。

## ブランチ運営委員募集

私達が踊り楽しんでいるスコティッシュ・カントリーダンスの運営に参加してみませんか？

自薦・他薦は、問いません。会員のボランティアによって運営されています。

ご協力よろしく願いいたします。

セクレタリーの小杉までご連絡ください。Tel/Fax 043-422-1263 締め切りは、4月末日

主な内容を挙げてみましょう。

- 1 ブランチ・クラスの運営・管理 (受付・会場設定)
- 2 合宿の企画・運営

- 3 ブランチ・ショップの企画・管理
- 4 会報・レターの編集・発行
- 5 ブランチ会計の管理
- 6 会員登録及び本部(エジンバラ)との連絡
- 7 ブランチの活動が円滑に行われ、SCD を楽しむための企画・運営・管理

## クラスで取り上げたダンス（2007年11月～2008年1月）

### アドバンス・クラス

11/03 土	担 当 ピアニスト	鈴 木 百 代 村 上 美 枝 子	1 Turugasima Reel 2 Many Happy Return 3 Polharrow Burn	R32-3C S32-3C R32-5C
12/01 土	担 当 ピアニスト	有 田 典 和 本 守 明 美	1 The Dancer's Web 2 North Herts Reel 3 The Silver Square 4 The Three Square Strathspey	R32-3C R32-3C R32-5C S32-3C
1/05 土	担 当 ピアニスト	小 幡 正 明 市 川 洋 子	1 Saxie's Baa 2 St.Ronan's Well 3 The Flight of the Falcon 4 Sandhills of Gaza 5 The Home O' Fife 6 Whippety Stourie	J32-2C S32-3Cs J32-2C R32-6C S32-3Cs R32-3C

## インターミディエイト・クラス

11/05 月	担 当	中 島 淑 子	
	1	The St Andrews Platinum Reel	R32-3C
	2	Farewell to the Island	S32-3C
	3	Welcome to Sky	J32-4C
	4	Miss Johnstone of Ardrossan	J32-5C
12/03 月	担 当	神 倉 那 智 子	
	1	Old Nick's Lumber Room	J32-3C
	2	The Button Boy	R32-3C
	3	Peggy's Strathspey	S32-3C
1/07 月	担 当	神 倉 那 智 子	
	1	The Inimitable Derek	R32-3C
	2	It's Just for Fun	J32-3C
	3	MacDonald of the Isles	S32-3CS

## ビギナーズ・クラス

11/12 月	担 当	境 雅 子・西 森 典 子	
	1	Welcome	J32-RR
	2	Leap Year	J24-2C
	3	Davy's Locker	R24-2C
	4	It's Fun to Dance	J32-3C
11/26 月			
	1	Kendall's Hornpipe	J32-2C
	2	Mr Watson's Favourite	R32-2C
	3	Sandy O'er the Lea	S32-2C
12/10 月			
	1	Lord Eglinton's Reel	R32-3C
	2	The Thistle	R32-3C
	3	The Birks of Invermay	S32-3C

12/24 月

1	The Flowers of Edinburgh	R32-3C
2	The Wild Geese	J32-3C
3	Monymusk	S32-3C

1/14 月

1	The Starry Eyed Lassie	J32-3C
2	Sugar Candie	S32-3C

1/28 月

1	Mrs MacLeod	R32-3C
2	The Braes of Tulliemet	S32-3C
3	Berwick Johnnie	J32-3C
4	The Dashing White Sergeant	R32-6.RR

## クラブ創立40周年記念ボールを終えて

岐阜スコティッシュカントリーダンスクラブ  
代 表 者 有 田 典 和

昨年の10月13日(土)～14日(日)、岐阜グランドホテルに於いて、創立40周年記念ボールを開催いたしました。スコットランドからマリアン・アンダーソン・スコティッシュ・ダンス・バンドのリーダー、マリアン・アンダーソンとメンバーのマックス・ケッチンをお迎えし、二人の息のあった素晴らしい演奏により、180名の方々にダンスを楽しんでいただきました。

創立40周年記念ボールでは、人気の高いミュージシャンを岐阜へ招聘し、その演奏で踊りたい。ギフ・キャッスル・バンドとのコラボレーションも実現したい。これらの思いを、友人のピーター・マーシャルに伝えたところ、スコットランド在住のマリアン・アンダーソン・スコティッシュ・ダンス・バンドのリーダー、マリアン・アンダーソンを紹介してくれました。岐阜での2日間の為に、多忙なマリアンが時間を割いて来てくれるだろうか？ ギフ・キャッスル・バンドとのコラボレーションも承諾してくれるだろうか？ 夢で終わらないように祈りつつ返事を待ちました。「10月9～17日の間、メンバーのマックスと二人で岐阜へ行きます。ギフ・キャッスル・バンドとのコラボレーションもOK」と、マリアンからメッセージが届き、夢が現実となり、胸が熱くなりました。

5年前の創立35周年ワークショップ&ボールでは、メリー・マレーとミュリエル・ジョンストンをお迎えしました。その時、ミュリエルの指導により、待望のギフ・キャッスル・バンドが誕生しまし

た。以後、ギフ・キャッスル・バンドは、年1回のサマー・ボールの為に、楽器の特性を生かし、クラシックやポピュラーな音楽を交えた、他には無い、ギフ・キャッスル・バンド独自のオリジナルティを求めながら、楽しい音楽を演奏してくれています。マリアンのアコーディオンに、マックスのドラムに、そして、ギフ・キャッスル・バンドの、ピアノとフィドルが加わることで、理想的なバンドの編成が実現しました。

昨年、私は久しぶりに、セントアンドリュースのサマー・スクールに参加しました。そこでマリアンに会いました。マリアンはミュージック・クラスの担当、ソーシャル・ダンスのバンド演奏と多忙のなかで、3時間程打ち合わせの場を作ってくれました。ヤンガー・ホールでのバンド演奏は、噂通りの素晴らしい演奏でした、人気の高さが解りました。

来日が決まってからは、忙しい日々が続きました。マリアンの MIDI アコーディオンの搬送、ドラム・セット(スネア・ドラム、ハイハット、ストール)の手配。

会場での MIDI アコーディオン用電源(240V)とアンプ(200W)、他に、音響装置(マイク、スピーカー、モニター等)の確保等。なかでも、MIDI アコーディオンの電源(240V)の確保は大変でした。幸い仲間内に電気工事技師がいて、難問を解決してくれました。

マリアンとマックスは、素晴らしい演奏をしてくれました。マリアンの MIDI アコーディオンのパワーに多彩な音色。マックスのスティック・ワーク。二人の息の合った演奏が、ダンサーの気持ちを高揚させ、アンコールと言わずにはいられないほど盛り上がり、時間を忘れるほどでした。マリアンとマックスは、多くのダンサーが、楽しんで踊っている事に感動していました。

マリアンとマックスは、岐阜県国際交流の一環として、京町小学校を訪問しました。この小学校は私の母校でもあります。児童数が減少し隣の校区と合併するため今年130年の歴史を閉じることになりました。“スコットランドの紹介”をテーマとして、全児童(150名)を前に、二人の演奏が始まると、初めてアコーディオンとドラムの演奏を聞く子供も多く、音楽に合わせて身体を動かす子供もいました。京町小学校のホームページにその時の様子が載っています。以前のホームページでは、マリアンの音楽を聴くこともできました。先日、京町小学校へ、マリアンからCDが送られてきました。毎日、ランチ・タイムの時に、ダンス音楽が流れているそうです。先生からの感想では、「子供たちが、こんなに集中して音楽を楽しむ姿は初めて見ました」と言われました。

私は、このスコティッシュカントリーダンスと出逢い、多くの事を学びました。多くの方々の助言、援助により、二人のミュージシャンと出逢うことができました。創立40周年は、情熱と感動と感謝の年となりました。SCDファミリーに感謝。

## 本部ウェブサイト、元どおりに

12月中旬からインターネットの本部ウェブサイトが不調となり、URL (Uniform Resource Locator、インターネット上のアドレス)をなんとインプットしても、出てくるのは「Site Error」の文字ばかり。世界共通の不具合で、どこかのブランチが本部に改善を要求しているはず、こちらから文句をつける必要もないだろう、と回復を待っていました。

ところがこれは日本だけでおこっている不具合で、他のすべての国ではおこっていなかったのです。これがわかった本部は急遽システムを見直し、1月29日から元どおり本部ウェブサイトが見られるようになりました。

本部ウェブサイト担当役員のビル・ホワイトによれば、「本部ウェブサイトは数ある市販システムのうち、Plone というシステムを使っている。Plone 2.5 から 3.0 にバージョンアップしたが、このとき日本の国別コード'JA'を入れ忘れたようだ」

## 新 CD・ブック紹介（トム鳥山）

### **Music for Book 30 plus 3 Dances by Hugh Foss (RSCDS CD061) by David Cunningham and his Scottish Dance Band**

Collichur (8x32J), Hame Came Our Gudeman (8x32S), The Highland Lass (8x32R), The Bawk (8x32J), A Man's A Man For A' That (8x32S), The Guidman of Balangigh (8x32J), The Cadies Lady (8x40R), Short and Sweet (8x40J), Fugal Fergus (8x48J), John McAlpin (8x32S), Polharrow Burn (5x32R)

昨年秋には Book 7 CD の発売が予定されていたが、ソサエティ役員会における方針変更により、Book 30 が発売された。終わりの3曲は 2007 年に出版されたヒュー・フォスのダンスの音楽である。

今回のデビッド・カニングラム楽団の演奏は、LP/カセット時代のボビー・クロウ楽団の録音(1988年)と対比せざるをえない。1988年ころはボビー・クロウのもっとも油ののっていた時代であり、はっきりしたリズム、調和したアンサンブル、ゆたかな音色、代替曲の選定もよく、踊りなしでも鑑賞に十分たえられる演奏であった。これにくらべるとデビッド・カニングラム演奏はピリッとしたところがなく、間延びした印象である。デビッド・カニングラム演奏で The Highland Lass を踊ると、どこか退屈なリールだという感じをもってしまう。しかし Book 30 は一風変わった踊りが多く、経験者向けのダンス集であり、この CD をもっていればクラスにおけるダンス選択肢が広がる。ヒュー・フォスの3ダンスも音質のよくないコピー・テープでなく、このオリジナル CD をおすすめする。

〔注文略号 : Book 30 CD〕

### **A Tribute to Derek Haynes (SPCD004) by Nicol McLaren SD Band**

Maureen's Reel (8x32R), Yan, Tan, Tethera (8x32J), The Craven Reel (8x32R), The Ring of Brodgar (4x32S), Domino Five (5x32R), The Tattie Bogle (8x32J), The

Craven Jig (4x32J), Ray Milbourne (4x32R), Miss Stevenson's Fancy (8x32S), The Celtic Cross (4x48R), Gaelforce Wind (8x32J), The Clansman (8x32R), The Sleeping Warrior (4x32S), The Raven's Dance (8x32J), The Craven Twelvesome (4x32R), A Jig for Garry (8x32J), The Black Mountain Reel (5x32R)

2005年4月に心臓発作で急死したディレク・ヘインズ(享年72)のダンス集である。昨年4月にスコットランド、ロッカビーでディレクをしのぶウィークエンドがあり、踊るダンスはすべて彼の作、講師は夫人のモーリン・ヘインズがつとめた。このCDはその実況録音盤である。ニコル・マクラレンの演奏はまずまずの出来。ディレクのダンスはわりあい易しく、しかも独自性がある。オリジナル曲で演奏されているこのCDはみなさんのコレクションに加えられるべきであろう。

ダンスの出典はディレクの来日時(2000年2月)に東京ランチがあっせんした Carnforth Collection Vol.1 - 5 である。これらのブックをお持ちでないかたはこの機会にどうぞ。ただし、A Jig for Garry は Vol.6 に入れるべく準備していたが、ディレクの急死により未出版となっている(モーリンはことし中に出版したいといっている)。

[注文略号:ディレク・ヘインズ CD、カーンフォース・ブック Vol.1 - 5]

### **The Kangaroo Paw (WACD001) by Marian Anderson and her SD Band**

The Kangaroo Paw (8x32R), The Open Road (4x32J), Christine's Fancy (3x32S), Reeling Roy (4x48R), Torridon Lassies (8x40J), The Glengarry Homestead (4x32S), The Backinghamshire Lass (4x40R), Anne and Five Partners (5x48J), Anne and Five Partners Encore (3x48J), The Avon Valley Strathspey (80S), Lauraine's Delight (3x48R), One of a Kind (40R+40S+40R), Flowers of the West (4x40S), Dancing Girls (8x32J)

カンガルー・ポーとはカンガルーのしっぽのことだが、転じてヒガンバナに似た植物で西オーストラリア州の特産、固有種、同州の州花である。日本でも栽培されている。このCDとブックは現在同ランチのトレジャラでもあるジョン・ブレンチリーのダンス集で、同ランチが制作した。ジョンは Book 45 の The Fairbridge Reel の作者、となればダンスの難易度も見当がつく。他のダンス作者との違いを際立たせるため、ことさらにむずかしく仕上げているダンスが多い。ディレク・ヘインズのダンスと対照的である。一部楽譜つき。

マリアン・アンダーソンは自由闊達に演奏している感じである。The Open Road ではフロア・パートナーに合わせてリズムをずらせる遊び心がおもしろい。The Glengarry Homestead にはオーストラリアの準国歌 'Waltzing Matilda' が入っている。3rd & 4th カップルが opposite sides から始まるダンスに対しても、すべてシングル・コードで演奏しているのでこの点に注意する必要がある。昨夏のヤンガーホール・ダンスでは A、B 2 つの曲で8回演奏するという手抜きもあったマリアンであるが、このCDは充実している。

[注文略号:カンガルー CD、カンガルー・ブック]

### **Special Requests Volume 7 (SRCD007) by Colin Dewar and his SD Band**

Miss Johnstone of Ardrossan (5x32R), Nurseryman (8x32J), Autumn of Appin

(4x32S), Hazel Tree (8x32J), Callum Dewar's Reel (4x40R), Bonnie Lass of Bon Accord (56S+intro), Father Connelly's Jig (4x64J), Tullich Hornpipe (4x32R), Orkney Reel (96R), Sands of Morar (8x32S), Kelpie of Loch Coruisk (7x32R), Waltz Country Dance, Brisk Young Lad (5x48J), Dream Catcher (96S), Royal Deeside Railway (8x32R), Set for Strathspey (4x32S), MacLeod's Fancy (4x32J), Inimitable Derek (8x32R)

2年に1枚というペースでCDを制作しているコリン・デュアの最新作。コリン・デュアは英国でひっぱりだこの人気バンドであり、このペースが可能なのかもしれない。ライブでは招請側の予算制約でトリオで演奏する場合もあるが、このCDでは6重奏である。演奏スピードは8x32 reelで4分45秒と遅めである。バリー・プリディ作の7カップル・ダンス Kelpie of Loch Coruisk、アラン・ガーディナー盤は3分59秒、このコリン・デュア盤は4分11秒で演奏しており、こちらのほうが余裕をもって踊れるかもしれない。

コリン・デュアは派手なテクニック披露をやらず、オーソドックスな演奏で定評がある。この盤ではフィドルが前面に出ていてうるおいのある音である。エアは得意でなさそうだが、Autumn of Appin や Dream Catcher はそれなりに演奏している。Set for Strathspey はどんなダンスにも合うだろう。前作よりもよいCDになっている。

[注文略号:コリン・デュア CD]

#### ダイヤグラムとスリップ・ストップ

関連商品のうち、ダイヤグラム(グリーン・ブック)とスリップ・ストップ(すべり止め粉末、150グラム)の入手希望が多く寄せられており、この機にご注文をどうぞ。

[注文略号:ダイヤグラム、スリップ・ストップ]

以上の商品のご注文は……… 郵便振替 00240-0- 63517 東京ランチ

Book 30 CD	¥3,300	カーンフォース・ブック Vol.5	¥700
ディレク・ヘインズ CD	¥3,600	カンガルー CD	¥3,600
カーンフォース・ブック Vol.1	¥700	カンガルー・ブック	¥2,200
カーンフォース・ブック Vol.2	¥700	コリン・デュア CD	¥3,600
カーンフォース・ブック Vol.3	¥700	ダイヤグラム	¥2,200
カーンフォース・ブック Vol.4	¥700	スリップ・ストップ	¥2,600

締切り 3月14日(金)

お渡し予定 4月末 担当 荒井千文 T/F 049-247-5468

## グループ案内

☆TS Scottish Country Dancers Anual Dance 2008

日 時 2008年 4月 18日(金) 13:00～16:00

会 場 武蔵野市 Swing 北棟 2F ( JR 武蔵境駅 北口下車 立川より )

問い合わせ先 鳥山豊喜 044-988-7773

☆ハッピー スコティッシュ カントリー ダンス クラブ

日 時 2008年 5月 4日 (日) 12:30～16:30

会 場 新宿区牛込箆笥地域センター

締め切り 4月10日 Fax でサークル名、参加者名を。当日参加OKです。

問い合わせ先 近藤幸子 03-3916-5051

## 原稿募集

ダンス・音楽・スコットランドについて感じた事、踊り方について疑問等寄稿下さい。

次回発行予定は5月です。